

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講期間	担当講師
専門基礎分野	微生物学	1	30	1年次	4月	江藤 晶
授業概要 生体がどのような化合物で成り立っていて、それらの化合物がどのように作られ、壊されて、生体の恒常性が保たれているのかを理解させる。						
到達目標 人体組織における病的状態の原因・発生機序・経過について理解する。						
使用教材 テキスト 系統看護学講座 疾病のなりたちと回復の促進 [1] 病理学 ; 医学書院 考文献等 その他						
評価 筆記試験						
授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
4時間・2回	1.微生物の成り立ち(1) 1)微生物の種類 2)微生物学 3)コッホとパスツール					講義
6時間・3回	2.微生物の成り立ち(2) 1)ウイルス学総論 2)遺伝子 3)細菌の構造					講義
2時間・1回	3.細菌学総論 1)細菌の代謝と増殖 2)感染・発病 3)滅菌消毒 4 検査法(染色法と観察)					講義
2時間・1回	4.細菌学各論(1) 1)黄色ブドウ球菌と薬剤耐性 2)連鎖球菌 3)グラム陰性双球菌					講義
2時間・1回	5.細菌学各論(1) 1)緑膿菌と日和見感染 2)百日咳 3)レジオネラ菌					講義
2時間・1回	6.細菌学各論(2) 1)腸内細菌 2)O-157と集団感染 7.細菌学各論(3) 1)ヘモフィルス属 2)ジフテリアと外毒素 3)結核菌					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講期間	担当講師
専門基礎分野	微生物学	1	30	1年次	4月	江藤 晶
時間・回数	授業内容					方法
2時間・1回	8.免疫学(1) 1)免疫の役割 2)生体防御反応 3)液性免疫					講義
2時間・1回	9.免疫学(2) 1)細胞性免疫 2)ワクチン 3)免疫病					講義
2時間・1回	10.ウイルス学総論 1)ろ過病原体とウイルス 2)ヘルペス 3)サイトメガロウイルス					講義
2時間・1回	11.ウイルス学各論(1) 1)インフルエンザ 2)はしかとおたふく風邪 3)風疹と CRS 12.ウイルス学各論(2) 1)ポリオウイルス 2)日本脳炎 3)エマージングウイルス					講義
2時間・1回	13.ウイルス学各論(3) 1)ウイルス肝炎 2)エイズ 3)成人 T 細胞白血球 14.ウイルス学各論(4) 1)カンジダ症 2)糸状菌 3)マラリア原虫 4)カリニ肺炎他 15.真菌学・原虫学					講義
1時間・1回	まとめ (45 分間)					講義
1時間・1回	筆記試験 (45 分間)					
備考						